

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 1 区分

【発行日】平成 18 年 1 月 5 日 (2006.1.5)

【公表番号】特表 2001-514858 (P2001-514858A)

【公表日】平成 13 年 9 月 18 日 (2001.9.18)

【出願番号】特願 2000-508817 (P2000-508817)

【国際特許分類】

C 1 2 N 15/00 (2006.01)

A 6 1 K 47/48 (2006.01)

C 0 7 K 19/00 (2006.01)

C 1 2 N 1/15 (2006.01)

C 1 2 N 1/19 (2006.01)

C 1 2 N 1/21 (2006.01)

C 1 2 P 21/02 (2006.01)

C 1 2 N 5/10 (2006.01)

【F I】

C 1 2 N 15/00

A 6 1 K 47/48

C 0 7 K 19/00

C 1 2 N 1/15

C 1 2 N 1/19

C 1 2 N 1/21

C 1 2 P 21/02 C

C 1 2 N 5/00 A

【手続補正書】

【提出日】平成 17 年 8 月 30 日 (2005.8.30)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 (a) アンテナペディアのホメオドメインまたはその機能的変異体を含む第 1 の領域と、(b) 第 1 の領域と自然には結合しない第 2 の領域とを含み、ここで、少なくとも第 1 の領域が非変性である、コンジュゲート。

【請求項 2】 第 1 および第 2 の領域がジスルフィド結合を介して結合している、請求項 1 記載のコンジュゲート。

【請求項 3】 融合タンパク質の形態にある、請求項 1 記載のコンジュゲート。

【請求項 4】 第 2 の領域が少なくとも 100 アミノ酸のタンパク質を含む、前記請求項のいずれか 1 項に記載のコンジュゲート。

【請求項 5】 第 2 の領域が機能的または調節タンパク質である、請求項 4 記載のコンジュゲート。

【請求項 6】 第 2 の領域が抗原である、請求項 4 記載のコンジュゲート。

【請求項 7】 第 2 の領域が DNA 結合ドメインである、請求項 4 記載のコンジュゲート。

【請求項 8】 第 2 の領域が NOI をさらに含む、請求項 7 記載のコンジュゲート。

【請求項 9】 第 2 の領域が NOI を含む、請求項 1 または 2 記載のコンジュゲート。

。

【請求項 10】 前記請求項のいずれか 1 項に記載のコンジュゲートをコードする核酸。

【請求項 11】 プロモーターに作動可能に連結されている請求項 10 記載の核酸を含む発現ベクター。

【請求項 12】 請求項 11 記載の発現ベクターで形質転換された宿主細胞。

【請求項 13】 (i) 宿主細胞内で発現ベクター由来のコンジュゲートの発現を提供する条件下で、請求項 12 記載の宿主細胞を培養する工程と、(ii) 非変性条件下でアフィニティー精製によりコンジュゲートを回収する工程とを含む、請求項 1 から 9 のいずれか 1 項に記載のコンジュゲートの調製方法。

【請求項 14】 コンジュゲートは、固定化基質に結合するアミノ酸テイルを含む、請求項 13 記載の方法。

【請求項 15】 請求項 13 または請求項 14 に記載の方法によって調製された、コンジュゲート。

【請求項 16】 薬学的に受容できるキャリアを組み合わせた、請求項 1 から 9 のいずれか 1 項または請求項 15 に記載のコンジュゲートを含む、薬学的組成物。

【請求項 17】 ワクチンの形態にある、請求項 16 記載の薬学的組成物。

【請求項 18】 癌、遺伝病、および細菌またはウイルス感染の治療または予防のための薬剤の調製における、請求項 1 から 9 のいずれか 1 項または請求項 15 に記載のコンジュゲートの使用。

【請求項 19】 発現機構における使用のための、請求項 1 から 9 のいずれか 1 項または請求項 15 に記載のコンジュゲート。

【請求項 20】 第 2 の領域がヒストンタンパク質である請求項 7 に記載のコンジュゲート。